

物理学正典

A definition of university

ウェブマスター 宇田雄一

Yuuichi Uda

私は大学の定義を論じる分野の専門家ではない。だから着想の発表と
考えて頂きたい。また話を大学の教育機関としての側面に限定する。単
位互換の考え方を駆使して従来の単位取得要件よりも柔軟な単位取得
要件を設定してはどうか、という事を提案する。教育機関としての大学
はユニークな教授によって価値付けられている場合もあろう。しかし英
単語の分類で言うと「大学」という単語は普通名詞だし「学士」「修士」
「博士」という単語も普通名詞だ。音楽演奏の世界で良く言われる「誰
それに師事した」という事は、学問においても意味があるだろう。しか
し、それとは独立に、高度に発達した現代社会にふさわしい制度として
の教育システムという観点から IT(Information Technology)ならぬ
ET(Education Technology)の標準規格を整備する、という発想も建設的
だと思う。従来は、オンラインのヴァーチャル大学の場合まで含めて、
教育機関が大学や大学院として認定を受ける、という形が主流だったの
ではないか。つまり入学から卒業までの教育の全体に対して、それが大
学であるか否かが定義されていた。私が提案するのは、もっと細切れに
同一の単位取得に対して何通りもの履修形態が可能な様に単位取得要
件を柔軟化する事だ。感じとしては、卒業にはこの単位とこの単位とこ
の単位が必要で、その内のこの単位については誰その授業に全部出席
するか何々テストに合格するか文科省認定自習ソフトのいずれかの終
了証を取得する必要がある、この単位については・・・、みたいな感じ
だ。従来の校舎によって特徴付けられる大学というものは、不動産店舗
を持つ百貨店の様なもので、そこ一箇所に通学するだけで卒業に必要な
全ての単位が揃う、という合理性を持つ。ITがあまり発達していない時
代においては百貨店が合理的だった。この商品はあっちで買い別の商品
はこっちで買う、という事では不便だ。しかし、ほとんどの商品はイン
ターネットで注文出来る現代においては、商品ごとに異なるアドレスで
販売されている事はさして不便ではない。その事は利用者の身体の移動
距離を増加させないからだ。同じ原理で、大学の単位取得についても現
在では、単位ごとに異なるアドレスで取得出来る様に制度を作り変える
事が Education Technology の進歩を誘発するのではないか。